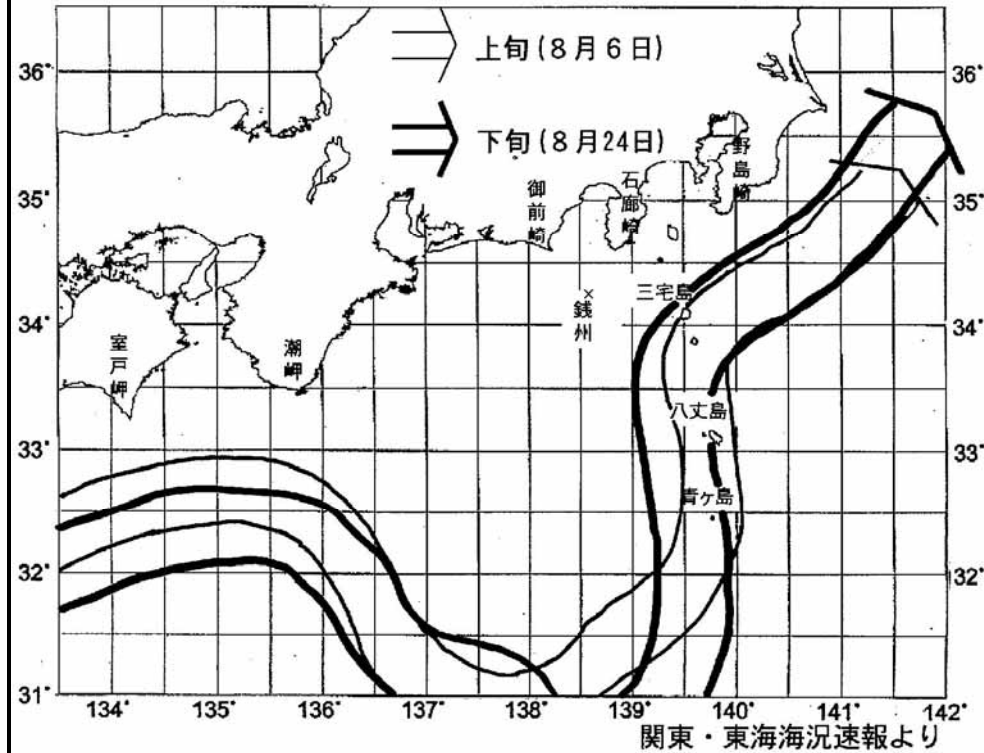


漁海況月報

平成30年8月1日

No.8 ~8月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

8月定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	27.6	26.7	26.5	28.0	27.4	27.5
	2.7	3.5	2.8	2.6	2.2	2.1
中旬	25.7	25.1	25.2	27.9	27.2	26.7
	0.4	1.0	1.0	2.2	1.5	1.1
下旬	25.7	26.1	26.5	27.7	27.2	27.5
	0.6	1.8	2.0	1.8	1.1	1.9
月	26.3	26.0	26.2	27.9	27.3	27.3
	1.2	2.1	2.0	2.2	1.6	1.8

*地頭方の水温観測は終了しました。

[黒潮流路]

8月を通じてA型で、上旬は潮岬沖 32.5°N から南東に進み、31°N、138°E 付近から北東に向かい、青ヶ島、八丈島に沿って北上した後、三宅島の東 140°E 付近から北東に流去した。中旬は潮岬沖 32.5°N から南東に進み、31°N、138°E 付近から北北東に向かい、八丈島・三宅島間から北東に流去した。下旬は潮岬沖 32.5°N から南東に進み、30.5°N、138.5°E 付近から八丈島の西 139.5°E 付近を北上し、三宅島付近から北東に流去した。

[県下沿岸域]

8月上旬は、沼津、焼津「高め」、伊東、稲取、下田、雲見「かなり高め」であった。中旬は、伊東「平年並」、稲取、下田、焼津「やや高め」、雲見、沼津「高め」であった。下旬は、伊東、沼津「やや高め」、稲取、下田、雲見、焼津「高め」であった。

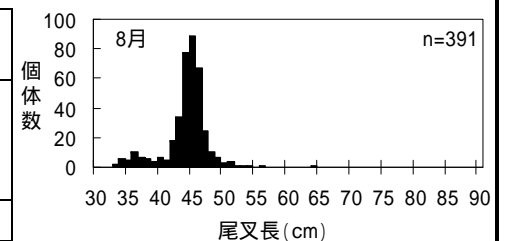
[竿釣りカツオ]

8月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は103トンで前年同月(95トン)の1.08倍であった。魚価は193円/kgで前年同月(406円/kg)を下回った。

漁場は 31-32°N、139-140°E の伊豆諸島周辺海域などであった。水揚げされた魚体の主体サイズは、小(尾叉長 45cm モード)であり、次いで、極小(尾叉長 42cm モード)、チン(尾叉長 36cm モード)などが水揚げされた。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
30年8月上旬	58	16	3.6	176
中旬	7	4	1.8	603
下旬	38	9	4.3	140
30年8月計	103	29	3.6	193
29年8月計	95	41	2.3	406
28年8月計	58	23	3.3	600



御前崎港における尾叉長組成

[定量網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は274.9トンで前年の同漁場の水揚量(167.3トン)の1.6倍であった。また、1か統あたりの平均水揚量は、39.3トンで前年(23.9トン)の1.6倍、平年(昭和57~平成29年の平均46.6トン)の84%であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(80.4トン、マイワシ、さば類、カタクチイワシ)、次いで北川漁場(62.2トン、さば類、マイワシ、カツオ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、マイワシは97.6トンで前年比6.5倍、平年比2.9倍と好調であり、漁獲サイズは小羽主体に中羽も混じった。さば類は54.3トンで前年比3.6倍、平年比40%でゴマサバ主体であった。シイラは27.7トンで前年比2.4倍、平年比3.2倍であった。カタ

クチイワシは18.5トンで前年比2.0倍、平年比2.5倍であった。ヤマトカマスは15.4トンで前年比63%、平年比1.0倍であった。その他の魚種については、ブリが0.7トンで前年比4%、平年比8%と極めて低調であった。

多獲された魚種の主な漁場は以下(表)の通りで、マイワシは伊豆山漁場が38%(36.8トン)、赤沢漁場が31%(30.6トン)、さば類は北川漁場が31%(16.7トン)、伊豆山漁場が29%(15.6トン)、シイラは赤沢漁場が39%(10.7トン)、伊豆山漁場が28%(7.7トン)、北川漁場が22%(6.0トン)、カタクチイワシは伊豆山漁場が52%(9.6トン)、古網漁場が31%(5.8トン)、ヤマトカマスは北川漁場が38%(5.9トン)、古網漁場が22%(3.3トン)、伊豆山漁場が20%(3.1トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	97.6	6.50	2.92	伊豆山、赤沢
さば類	54.3	3.61	0.40	北川、伊豆山
シイラ	27.7	2.40	3.16	赤沢、伊豆山、北川
カタクチイワシ	18.5	1.96	2.52	伊豆山、古網
ヤマトカマス	15.4	0.63	1.00	北川、古網、伊豆山

[サバ 棒 受 網]

小川港所属の棒受網漁船は棒受網で操業し、漁場は三本や銭洲、ひょうたん瀬に形成されたが、いずれも漁況は低調であった。水揚量はゴマサバ58トン(前年同月比22%)であり、1隻あたり水揚量はゴマサバ6.4トン(前年同月18.8トン)であった。マサバの水揚げはなかった。

ゴマサバの1kgあたり平均単価は98円で前月(93円)、前年同月(92円)を上回った。

漁獲されたゴマサバの体長組成は尾叉長31cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
30年8月上旬		58	3	8		7.2		98	三本、銭洲
中旬									
下旬		0	1	1		0.2		113	ひょうたん瀬
30年8月計		58	4	9		6.4		98	ひょうたん瀬
29年8月計		263	7	14		18.8		92	三宅
28年8月計		97	2	4		16.2		82	三宅、三本

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が206kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が280kgであった。平均水揚量は258kgと前年同期(128kg)の2.0倍、平年同期(過去5か年平均:189kg)の1.4倍であった。また、総水揚量は317.4トンで前年同期(97.1トン)の3.3倍、平年同期(236.2トン)の1.3倍と、前年同期と平年同期を上回った。平均単価は1,394円/kgと、前年同期(1,009円/kg)の1.4倍、平年同期(862円/kg)の1.6倍と、前年同期と平年同期を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	34.3	10	129	266	1,222
舞 阪	129.3	10	401	322	1,285
福 田	64.1	10	264	243	1,358
御前崎	16.7	8	80	209	1,452
吉 田	24.1	8	145	166	1,626
静 岡	49.0	10	210	233	1,716
平成30年8月計	317.4	56	1,229	258	1,394
平成29年8月計	97.1	39	759	128	1,009
平成28年8月計	279.7	59	1,243	225	857

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期:過去5か年(平成25~平成29年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では90.0トン(前年同月比1.5倍、平年同月比1.1倍)、伊東港では243.0トン(前年は水揚げ無し、平年同月比24.5倍)、静浦港、小川港では水揚げが無かった。カタクチイワシの水揚量は、伊東港、静浦港、沼津港、小川港で水揚げが無かった。

*平年:過去5か年(平成25~平成29年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

8月 1日 ~ 8月 3日 地先定線観測調査 (3日間)

8月 22日 ドック回航 (1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

